

## 階層の区分

維持管理面及びより利用者の立場にたって工夫を行う。

- ・耐久性の高いもの、及びシンプルなものを選択する。
- ・周辺の舗装や段差の整備も併せて行う。
- ・素材において、いたずら防止や手で触れる場所については、高熱にならないものを選択する。
- ・定期的、短期的に変更が予測されるものには、部分的に取替え可能な構造のものを選択する。
- ・視認性の確保や歩行の妨げにならない位置への配置を検討する。

## 表記の基準

### ① 言語・文字

- ・英語の併記を基本とする。
- ・同じ対象が異なった表現で表記されないよう注意する。

### ② 書体

- ・視認性が高く馴染みの深い丸ゴシックまたは角ゴシックを基本とする。  
(必要に応じて用途に合った字体とするが、視認性に配慮する)

### ③ 色

- ・背景は連続性及び統一性を図るため、景観配慮色である同系色を使用する。  
(ダークブラウン【10YR 2.0/1.0】・ダークグレイ【10YR 3.0/0.5】を基本)
- ・文字は視認性を高めるため明度の対比を大きくし、明度の高い白系を使用する。
- ・サインのサイズ及び周囲の状況によりダーク系が馴染まない場合、反転の利用も考慮する。



←ダークブラウン  
【10YR 2.0/1.0】

ダークグレイ→  
【10YR 3.0/0.5】



### ④ ピクトグラムを利用し抽象化、単純化した絵により意味を伝える。



ピクトグラム一例

### ⑤ 矢印の形状や使用方法にルールを持たせ認識記号による認識度を高める。

- ・表記面の矢印については、JIS Z 8210に規定されたものを10:10に改良したものを使用する。

